

編集方針

FDKグループでは2001年3月期より「環境報告書」を発行し、2006年版からは環境保全活動報告だけでなく、社会的側面の内容を盛り込んだ「FDKグループ社会・環境報告書」を発行しています。今回で3回目の社会・環境報告書となります。

この報告書は、FDKグループの持続可能な社会実現に向けた取り組みを分かりやすくお伝えすることを目的としてまとめたものです。今回は特集記事を設け、当社の特徴のある開発製品を紹介することといたしました。

編集にあたっては、図表やグラフ・写真をできるだけ多く取り入れて表現し、環境報告ではFDKグループ環境行動計画の項目毎のページ構成として、目標に対する活動状況を対比しやすく配慮しています。

今後もさらに読みやすい報告書となるように努めながら、毎年1回定期的に発行していく予定です。FDKグループでは本報告書により、皆さまとの双方向のコミュニケーションを図っていきたくと考えております。

アンケートはペーパーレスの観点から、ホームページでの受付のみにさせていただいております。皆さまのご意見をお聞かせいただければ幸いです。

想定読者

お客様、お取引先、投資家、株主、地域社会、行政、社員などの多様なステークホルダーを対象としています。

インターネットURLアドレス

〈FDKグループの環境活動〉

http://www.fdk.co.jp/kankyoku/kankyoku_index.html

〈FDKグループ社会・環境報告書アンケート〉

<http://www.fdk.co.jp/kankyoku/questionnaire.html>

報告書の範囲

対象期間

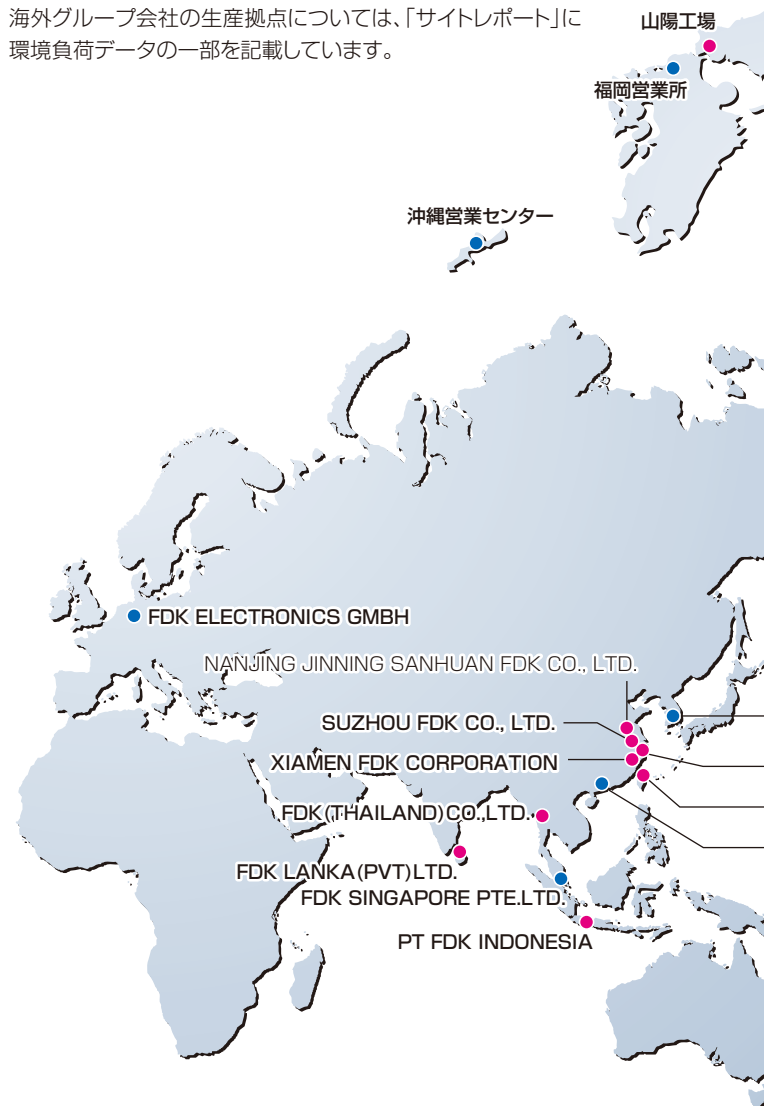
2007年度(2007年4月1日～2008年3月31日)の取り組みや成果を中心として記載しています。ただし、一部にはデータの推移を表すための過去のデータや活動実績および2008年7月までの実績が含まれています。

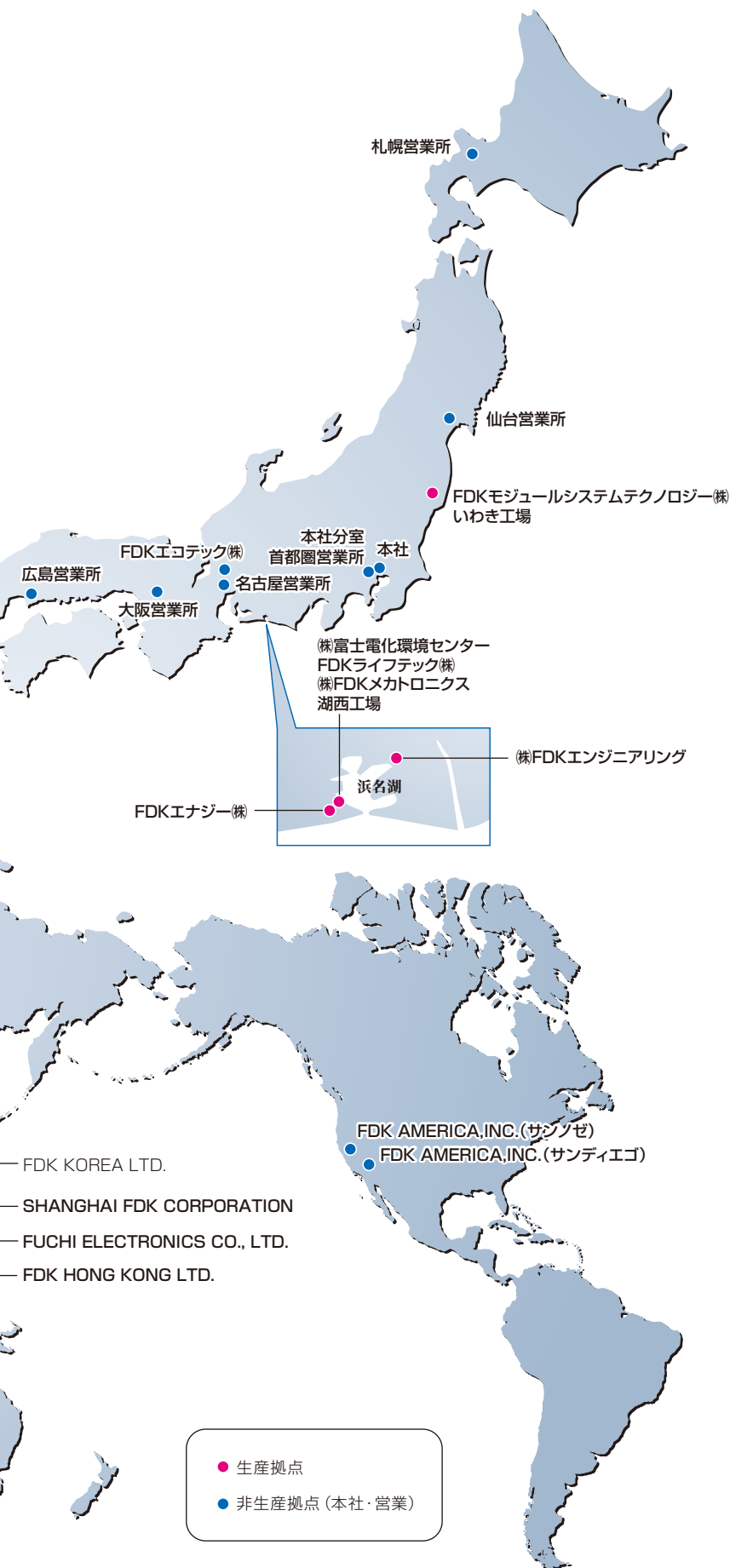
対象組織

FDKグループ全体を対象とし、環境活動に関する報告は、
国内：FDKとグループ会社（7社）
海外：連結対象の拠点（12社：下図の太文字で示す拠点）を対象としています。

データの集計範囲

地球温暖化防止、廃棄物の削減、化学物質の排出量削減、事業活動と環境負荷などのパフォーマンスデータは、FDK株式会社の工場と国内グループ会社を集計の範囲としています。海外グループ会社の生産拠点については、「サイトレポート」に環境負荷データの一部を記載しています。





CONTENTS

編集方針／CONTENTS	01
トップメッセージ	03
会社概要	05

特集

FDKの新製品開発	07
-----------	----

経営と体制

経営方針と企業統治	09
-----------	----

経営と体制

社会性報告

社会とともに	12
社会貢献活動・コミュニケーション	17

社会性報告

環境活動報告

事業活動と環境負荷	18
環境基本方針と環境行動計画	19
環境会計	21
環境経営の強化	22
グリーン調達の推進	23
リスクマネジメントの強化	24
製品の価値向上	25
地球温暖化防止対策	27
グリーンファクトリーの推進	29
環境ソリューション活動	31

環境活動報告

サイトレポート	33
---------	----

サイトレポート

環境活動の沿革	40
---------	----